

事業概略書

事業名	訪問型生活訓練事業の人材育成と支援内容の評価・モニタリングに関する調査研究
事業目的	平成 21 年度の生活訓練(訪問型)報酬単価の改正により、今後事業者が新たに事業展開を行っていき、精神障害者の地域生活移行・支援に寄与することが予想されるが、有効な制度活用には①スムーズな事業の立ち上げ、②質の高い人材の育成が必要である。よって、本事業ではこれらの課題に対応し、 ①現在の生活訓練事業者の事業実態把握を行うとともに、訪問型生活訓練の事業立ち上げへの課題点ならびに研修に必要な要素をさぐり、 ②それをもとに研修プログラムを設計・実施し、立ち上げ支援を行うとともに、その人材育成の効果評価を行いその結果をモニタリングすることを通じ、生活訓練制度の内実ある運用に貢献することを目的とする。
事業概要	1 生活訓練事業者の事業実態調査 訪問型生活訓練事業は現在の生活訓練事業者による展開が見込まれるが、そのスムーズな事業展開には、事業者が感じている訪問型の事業展開への課題の整理や研修ニーズを検討することが必要である。よって、全国の生活訓練の事業者にたいし、全国規模で郵送調査を実施した。 2 訪問型生活訓練事業人材育成研修および効果評価 上記調査の分析の上研修プログラムを設計し、国立精神・神経センター 精神保健研究所との連携の元、新規に事業展開を志すもの等に対し研修を実施し、新規事業の立ち上げ支援を行う。なお、自記式調査を使い、研修参加者に研修前・後で調査を行い、研修の効果評価および支援に関するモニタリングを行った。
事業実施結果及び効果	1 事業実態調査 事業実態調査の結果、全国において生活訓練訪問型の展開はほとんどされていなかった。また、その展開の困難さの原因として、「事業システムの構築の仕方がわからない」などの理由があることが明らかになった。また生活訓練の従事者要件として「研修を行うべき」という回答が多いにもかかわらず、それに対応する研修が少ないと感じている実態が明らかになった。 2 訪問型生活訓練事業人材育成研修および効果評価 1をもとに研修プログラムを構築し、平成 21 年 10 月に研修を行った。その結果、参加者の高い満足度を得るとともに、訪問支援に必要な概念の理解度の向上、リカバリー志向性の向上、訪問支援に際しての不安感の低下などの効果が得られた。また、研修 3 ヶ月後までモニターしたところ、その効果は維持されていることが明らかになった。これにより、効果のある研修プログラムの開発がなされたと考える。
事業主体	〒272-0035 千葉県市川市新田5-14-11 特定非営利活動法人 ほっとハート TEL 047-314-3888 E-mail center@hotheart.org

- (注) 1. 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するので、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
2. 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途、実施した事業についての報告書冊子を必ず提出すること。